

開講学科	教職センター（生物工学科）	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		標準対象年次	選択/必修	科目コード		
科目名	視聴覚教育と教育工学	3年次	必修	21000901		
		単位数	学期	曜日	時限	
担当教員	益田 裕充	2単位	後期	集中		
		授業の教育目的・目標 教育に対する深い理解と教職に対する強い情熱を持ち、教育の専門家として確かな力量を備え、総合的な人間力を持って生徒に支援ができる実践的指導力を兼ね備えた教員の養成を目的とする。				
学科の学習・教育目標との関係 「教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意をもっている。」という目標を達成するために、教育の基礎理論に関する科目、教育課程及び指導法に関する科目を学修させる。		キーワード 教授・学習論、メディアの融合、情報モラル、デジタルコンテンツ、模擬授業				
授業の概要 本講義では、IT 新改革戦略によって展開された教育の情報化をめぐる諸課題を学校教育の課題と関連づけて整理する。整理の観点として、現代的教育の課題に正対する教授・学習論に触れ、授業づくりの理念とメディアの融合について検討する。さらには、深刻化する情報モラルの問題等に触れながら、学校教育の情報化の現在と未来を考察する。講義最終日には、デジタルコンテンツを用いた授業づくりについて、理科の授業を事例にして演習を行う。		授業の計画 第1回： 講義のすすめかた 現代的教育課題とメディアが果たす役割 第2回： 教授・学習論とメディアの融合 第3回： 教授・学習論とメディアの融合 第4回： メディアミックスの授業最前線 第5回： 教育の情報化最前線—何のために情報化するのか— 第6回： 教育の情報化最前線—学校をいかに情報化するのか— 第7回： 情報モラル教育—授業の実際と分析— 第8回： 情報モラル教育の諸課題—子どもをめぐる諸課題— 第9回： 情報モラル教育の諸課題—教職員をめぐる諸課題— 第10回： デジタルコンテンツ（理科ねっとわーく等の）活用 第11回： デジタルコンテンツを融合した理科学習指導過程の構想 第12回： デジタルコンテンツを融合した情報モラル学習指導過程の構想 第13回： 模擬授業の実際 第14回： デジタルコンテンツ活用の視点からの授業評価 第15回： まとめ				
受講条件・関連科目 受講条件：教職課程履修登録者 教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）		授業方法 講義・演習				
テキスト・参考書 赤堀侃司『教育工学への招待 教育の問題解決の方法論』ジャストシステム出版部 2002 年等 詳細は、直前に連絡をします。		成績評価 ・試験（50%） ・レポート（なし：ただし講義中に提出する簡単なレポート有り） ・その他 注意事項（授業態度および講義中のレポート等の提出物を評価の対象とします：50%）				
履修上の注意 3 日間の集中講義すべてに出席すること。欠席の場合は単位を認定できません。						